

新開設『力量向上研修会』

～内部監査を基本にした実地研修～

“定着した”農場HACCPに向けて～

一 飼養衛生管理基準強化のためにHACCPの考え方を採り入れた「農場HACCP」の導入一

農林水産省は、令和4年度事業方針として、飼養衛生管理基準強化のためにHACCPの考え方を採り入れた「農場HACCP」の導入により我が国の畜産物の安全性の一層の向上と消費者の信頼確保を柱に農場指導員を対象にした新しい実地研修計画を示しました。

HACCPは、食品の安全性確保のための国際システムですが、本システムの特徴である「危害要因分析」の手法を飼養衛生管理に活用、実践すれば、当該農場にフィットする家畜疾病・伝染病予防対策が確立できます。

「持ち込まない、広げない、持ち出さない」を実現します。さらに、運用段階においては、情報分析、衛生管理システムの見直し等システム更新(PDCAサイクル)を繰り返し行うことで、効果的に機能することができます。

本実地研修においては、これまで長年に渡って研究・開発してきたe-ラーニングを柱に、飼養衛生管理を中心に「危害要因分析」の手法を導入・活用して、日常作業や定期作業に落とし込み、衛生管理が正しく機能しているかどうかを学ぶカリキュラムです。



3つのステップによる研修スタイル

ステップⅠ
知識習得型

共通講座

HACCPの基礎を学ぶ～ e-ラーニングによる個別学習～
国際標準であるHACCPシステムの基礎と農場HACCP認証基準を学びます。



ステップⅡ
構築実践型

畜種別講座

畜種に応じた農場HACCPを学ぶ～e-ラーニングによる個別学習～
畜種別特性に応じた課題を作成し、赤ペン先生による添削を行います。



ステップⅢ
運用実践型

実地研修

ZOOMによるオンライン研修 ～実例や演習を含めたワークショップ型学習～
飼養衛生管理基準を基軸に内部監査、運用実践型のスタイルを学びます。



開催日

令和 8 年 1 月 28 日 (水) 又は 令和 8 年 2 月 12 日 (木) どちらか1日

受講料

無料

※農林水産省 補助事業にて運営しています。

講師

NPO法人日本食品安全検証機構
赤池洋、古谷陽子

申込期限

令和 8 年 1 月 19 日 (月)

定員

30名

定員になり次第、締め切らせていただきます。

注意※本研修は、畜種別講座を修了又は同等の知識を有していることが条件です。

対象

農場HACCPチームメンバーの方、飼養衛生管理者、管理獣医師、家畜保健衛生所、原材料供給者、関連団体の方などの農場関係者

お申込み

<https://forms.gle/e1t1BiZ2wCtQgAVC8>

- ・インターネットの環境が必要です。(操作環境は、別紙をご覧ください。)
- ・zoomを使用したリモート形式の演習です。事前にzoomが使用できるPCのご準備をお願いいたします。
- ・閲覧のためのパソコン端末またはスマートフォン・タブレット端末が必要です。
- ・詳細の閲覧環境条件は、別紙こちらをご覧ください。・メールアドレスの登録が必要です。(PCメールアドレスに限る。)



主なプログラム

- 10:00～12:00**
- ・オリエンテーション
 - ・HACCP最新動向
 - ・改正 農場HACCP認証基準の解説
活かした農場HACCPの運用
 - ・飼養衛生管理基準の効果（家畜伝染病予防）
を高めるための危害要因分析手法
 - ・内部監査 解説
- 13:00～17:00** = 写真や実例を用いた実践的演習 =
- ・内部監査チェックリストの作成
 - ・内部監査 ロールプレイ
 - ・事例から学ぶ指摘事項の抽出

お申込み後の流れ

お申込み

お申込みフォームアドレスから、お申込み

申込受付

事務局より申込受付のご連絡をいたします。

受講の
ご案内

開催 1 週間前までに受講のご案内をさせていただきます。

学習 参加条件（使用するPCの環境をご確認ください。）

Zoom テスト環境にてご確認ください。

<https://zoom.us/test>

お申込みに関するお問い合わせ先（開催事務局）

古谷（090-9075-7352） または 赤池（080-3087-1954）